

伊豆鳥島（平成 16 年（2004 年）年報）

平成 16 年の活動概況

海上保安庁が行った上空からの観測によると、7、8月に 2002 年に噴火した硫黄山山頂の火口から白色の噴煙が上がっているのが確認されました（表 1、図 1）。また、10 月に島の周辺海域において変色水が確認されました（表 1）。

主な活動経過

表 1 伊豆鳥島 観測された火山活動

日付	火山活動
7月7日	海上保安庁の観測によると、2002年8月噴火の火口から白色噴煙が立ち昇っているのが確認された。島周囲沿岸海域には、変色水及びその他異常現象等は確認されなかった。
7月16日	海上保安庁の観測によると、2002年8月噴火の火口から白色噴煙が立ち昇っているのが確認された。島周囲沿岸海域には、変色水及びその他異常現象等は確認されなかった（図1）。
8月25日	海上保安庁の観測によると、硫黄山火口の南側内壁にわずかに白色噴煙の噴出が確認された。
10月12日	海上保安庁の観測によると、島の北側の兵庫浦から船見岬にかけて沖合 300m までの海域に黄緑色の変色水が確認された。また、島の南岸の三ツ石から燕埼にかけて沖合約 300m までの海域に黄緑色の変色水が確認された。噴煙は確認されなかった。



図 1 硫黄山山頂火口付近の噴気の様子。
（2004 年 7 月 16 日、海上保安庁 撮影）